



# 国際福祉機器展 & フォーラム

Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition & Forum

## 「H.C.R. シンボルマーク」 デザインマニュアル

### H.C.R.シンボルマークのマニュアル策定について

本会ではこれまで、主要事業である国際福祉機器展の開催にあたり、H.C.R.のシンボルマークを積極的に用いて、その広報周知等が効果的に行われてきたと考えます。このマークが今後も機器展のシンボルとして浸透し、より多くの方々に親しんでいただくために、この度マークの使用ルールの整備が不可欠と認識し、デザインマニュアルを策定することとします。また、それに準じたデータをあわせて配布することにより、シンボルマークとロゴタイプが適正に利活用され、機器展のVI（ヴィジュアルアイデンティティ）が確立されたものとして機能し、皆様のご出展に関する広報に一層の効果を持って寄与することができましたら幸いです。

## シンボルマーク、ロゴタイプの各エレメント一覧①

当機器展では、オリジナルのシンボルマーク、漢字のロゴタイプと、スタンダードな欧文フォントを組み合わせたタイポグラフィにより、ヴィジュアル アイデンティティを表現します。

○シンボルマークを使用する場合、周囲に所定の余白=クリアスペースをとるようにするなど、ルールに従って使用し、マークの独立性、視認性を確保します。(詳細は3ページを参照)

○ロゴタイプは、単独で使用する他に、欧文表記と組み合わせて使用することもできます(シンボルマークとの組み合わせについては次ページ参照)。

欧文表記をロゴタイプと組み合わせる場合の欧文フォントは「Times Bold」を使用します。

○ロゴタイプと欧文表記フォントの組み合わせは、最適と思われる大きさ比、行間を設定しており、ロゴタイプの左右幅と揃うように字詰め調整をしています。

※配布される、単独・組合せた状態のシンボルマーク、ロゴタイプのデータをご使用ください。

◎シンボルマーク



◎ロゴタイプ

# 国際福祉機器展 & フォーラム

◎組み合わせ ログタイプ+欧文表記 (欧文フォント Times Bold)

# 国際福祉機器展 & フォーラム

Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition & Forum

## シンボルマーク、ロゴタイプの各エレメント一覧②

○シンボルマークはロゴタイプと組み合わせても使用します。

シンボルマークとロゴタイプの組み合わせでは、最適と思われる大きさ比、間隔を設定しています。

○シンボルマークとロゴタイプ、欧文フォントとの組合せは、マークと文字組の間隔の他、天地の中心線・上下の位置関係も微調整します。

◎組み合わせ シンボルマーク+ロゴタイプ



国際福祉機器展 & フォーラム

◎組み合わせ シンボルマーク+ロゴタイプ+欧文表記 (欧文フォント Times Bold)



国際福祉機器展 & フォーラム  
Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition & Forum

※配布される、単独・組合せた状態のシンボルマーク、ロゴタイプのデータをご使用ください。

## シンボルマークについて

シンボルマークは、当展示会を象徴するマークとして使用します。状況に応じて単独、もしくはロゴタイプと組み合わせで使用します。原則としてPR制作物の1平面に(=1ページにつき)必ず1つ(のみ)配置されるようにします。また制作物面積の50%以上を占める大きさ(目安)となる使用は避けます。※デジタル媒体の小型アイコン等を除く

### ●シンボルマークのクリアスペース(余白)

シンボルマーク及び、組み合わせたロゴタイプの周囲(天地、左右)には少なくともマークの天地の大きさの25%(1/4)のクリアスペースを取ります。

デジタル媒体の円形アイコンは左右に天地の25%(1/4)のクリアスペースを確保してください。

### ●シンボルマークのカラー設定

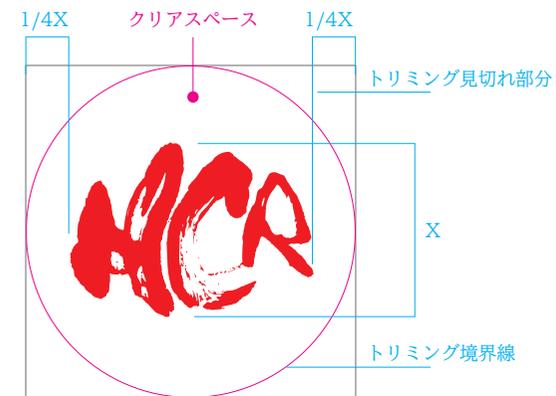
プロセスカラーの色指定で

M:マゼンダ=100% + Y:イエロー=100%とする。他の環境での色指定は右に示す通りとなります。

◎カラー表現・クリアスペース(余白)の考え方



◎デジタル媒体 円形アイコン・クリアスペース(余白)の考え方



◎スミ(1色表現) 網点なし ベタ



◎グレースケール(1色表現): 網80%



◎白抜き(濃色の背景に対して)



◎色指定

●4色プロセスカラー  
(通常カラー印刷)  
M:100% + Y:100%

●DIC  
DIC:156

●PANTONE  
PANTONE:185

●RGB(カラーモニター)  
R:230  
G:0  
B:0

## シンボルマークの誤用例

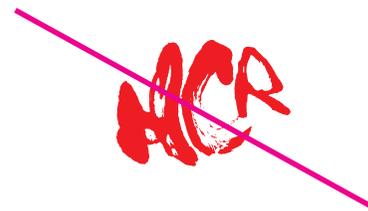
シンボルマークの誤りがちな使用例を示します。シンボルマークの誤った表示は、本展示会のヴィジュアルアイデンティティを損なうこととなりますので、避けるようにしてください。



色を変えてはいけません。



グラデーションやパターンで塗ってはいけません。



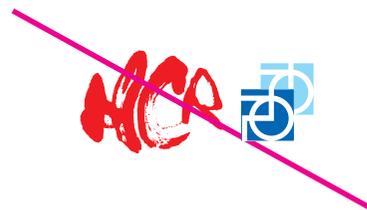
傾けてはいけません。



反転させてはいけません。



変型させてはいけません。



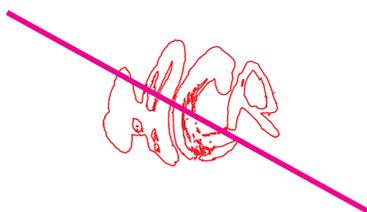
他のロゴを近づけ、組み合わせてはいけません。



他の図形やデザインと組み合わせてはいけません。



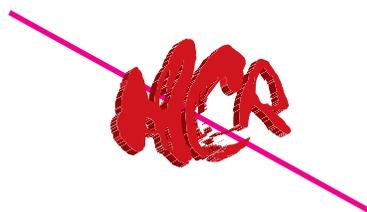
指定以外の文字と組み合わせてはいけません。



アウトライン表現をしてはいけません。



シャドウを加えてはいけません。



立体表現をしてはいけません。

## シンボルマークの背景による取り扱い（背景との関係／カラーの背景での使用）

シンボルマークは白地にカラーで使用することを基本とするため、複雑な模様、写真、イラスト等の背景には配置しないようにするか、白いボックスを作成してロゴを配置します。

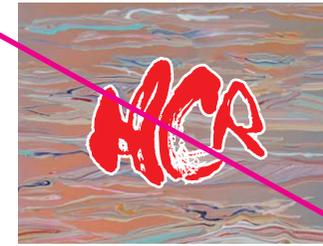
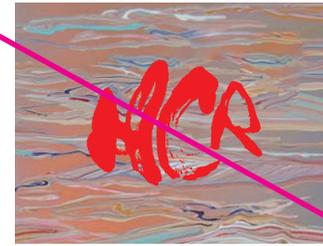
○背景が比較的単調、かつシンボルマークの赤と容易に区別できる色相、明度の単色や、同様な写真、イラスト等が背景の場合、またマークの視認性をあげるため背景を加工した場合、シンボルマークを直に配置することが可能です。白抜き表現を選択することも可能です。

○視認性を確保するために、シンボルマークに白い縁取りや光彩等の加工を加えてはいけません。

○背景色がシンボルマークと似ている赤系の場合は、白いボックスを作成するか、白抜きを使用してください。

○背景が補色の緑など、ハレーション（＝明度が近く彩度が高い）が起きて見にくい場合は、できるだけ白抜きを使用してください。

○「要確認」のケースについては、念のため事務局にお問い合わせ・御相談ください。



複雑な背景の上に配置できません。

ロゴに縁取り加工を加えてはいけません。



複雑な背景に白抜きで配置した例（要確認）

背景に加工をして視認性を向上させた例（要確認）

ロゴに光彩加工をしてはいけません。



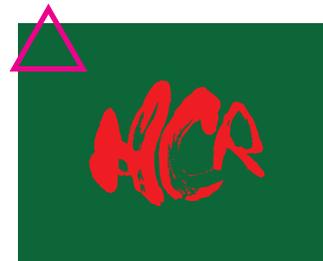
同系色の背景に白抜きで配置した例。

同系色の背景に配置してはいけません。



明度が高く、色相も異なる背景への配置例。

明度の高い背景に白抜きで配置してはいけません。



補色等の背景に配置した例（要確認）



補色等の背景に白抜きで配置した例。

## ロゴタイプのクリアスペースと最小サイズについて

### ●組合せのクリアスペース(余白)

・ロゴタイプの周囲のクリアスペースは「機」の文字の天地サイズの50% (1/2) のスペースを確保するようにしてください。欧文表記が無い場合も同様です。

・シンボルマークとの組合せの場合は、シンボルマークの天地の25% (1/4) を空けるようにしてください。欧文表記が無い場合も同様です。

### ●最小サイズ

シンボルマークやロゴタイプを使用する際に、視認性を確保するために、最小サイズを設定します。

・名刺等に使用する場合のシンボルマークの最小サイズを左右12mmとします。

・ロゴタイプ単独の場合の最小サイズは左右60mmとします。

・シンボルマークとロゴタイプの組み合わせの最小サイズは左右74mmとします。

・ロゴタイプと欧文の組み合わせを小さいサイズで使用すると、欧文の可読性が低くなるのでなるべく使用しないのが好ましい。最低でも左右88mmは確保する。



単独使用・名刺 最小サイズ左右12mm



ロゴタイプ単独使用 最小サイズ左右60mm

国際福祉機器展 & フォーラム

組み合わせ使用 最小サイズ左右74mm

HICA 国際福祉機器展 & フォーラム

組み合わせ使用 最小サイズ左右88mm

国際福祉機器展 & フォーラム  
Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition & Forum

組み合わせ使用 最小サイズ左右110mm

HICA 国際福祉機器展 & フォーラム  
Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition & Forum